

マイサーバーサービス 利用マニュアル
(ディスク容量制限設定)

マイサーバーVPS compact

RIMNET <http://www.rim.or.jp/support/>

Members Guide Book **2010/07**

はじめに

本利用マニュアルでは、マイサーバーVPS compact の「ディスク容量制限設定」を解説します。

目次

はじめに	1
目次	1
1. ディスク容量制限設定	2
1-1. 概要	2
1-2. ディスク容量制限設定	2

1. ディスク容量制限設定

1-1. 概要

HDE Controller にログインし、「ディスク容量制限設定」のアイコンをクリックします。
次項の項目に従って設定及び確認を実施してください。

1-2. ディスク容量制限設定

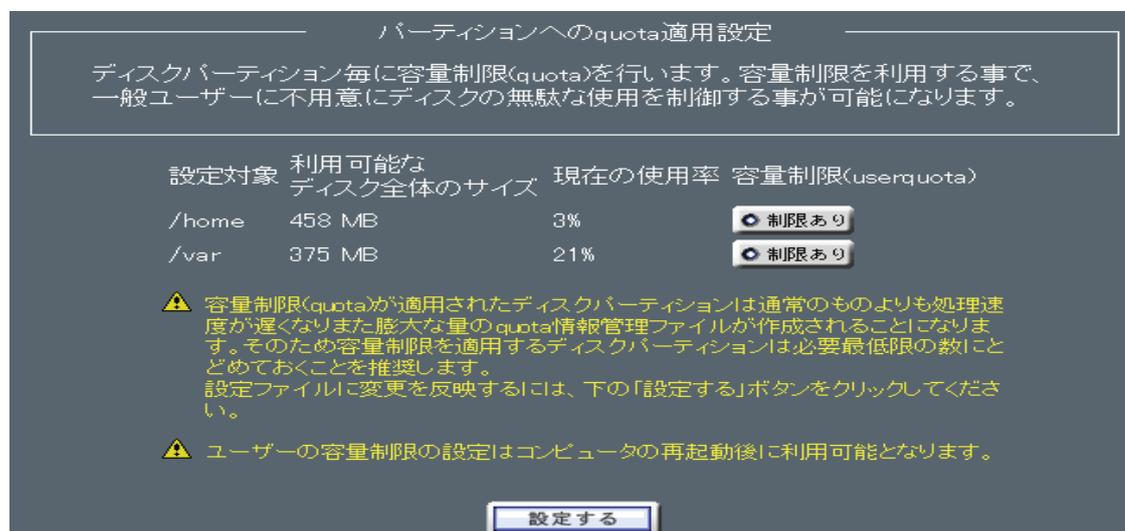


パーティション設定

ディスクのパーティション毎、ユーザー毎、サイズ/ファイル i ノード別にディスクの使用量の制限を行います。

●容量制限の設定

パーティション設定を選択すると以下の画面が表示されます。



設定対象	利用可能なディスク全体のサイズ	現在の使用率	容量制限(userquota)
/home	458 MB	3%	<input checked="" type="radio"/> 制限あり
/var	375 MB	21%	<input checked="" type="radio"/> 制限あり

⚠️ 容量制限(quota)が適用されたディスクパーティションは通常のものよりも処理速度が遅くなりまた膨大な量のquota情報管理ファイルが作成されることとなります。そのため容量制限を適用するディスクパーティションは必要最低限の数にとどめておくことを推奨します。設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

⚠️ ユーザーの容量制限の設定はコンピュータの再起動後に利用可能となります。

容量制限を適用するパーティションの「容量制限」のボタン(「制限無し」)をクリックします。

ボタンが「制限あり」に変わります。

「設定する」をクリックして設定を終了します。

※OS インストール時に/home パーティションを設定されない場合、ユーザーごとのディスク容量制限をご利用いただけません。

※特に OS プレインストールマシンをご利用の際は、ご注意ください。

※容量制限を適用した場合、ディスク I/O が通常より遅くなります。

容量制限を使用するパーティションは、必要最低限の数にすることを推奨します。

設定はコンピューターの再起動後に適用されます。

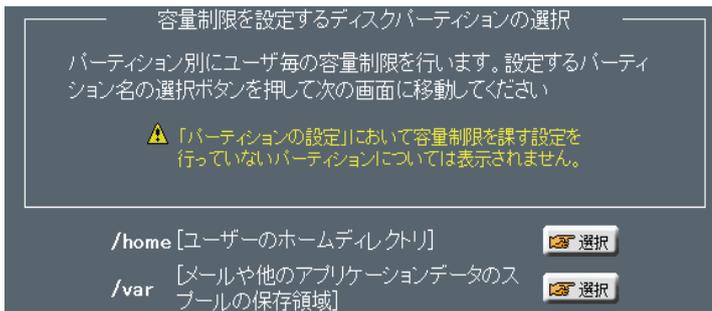
●容量制限一覧



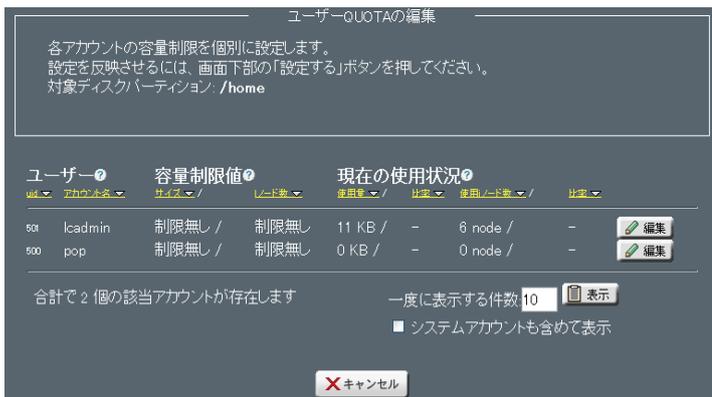
容量制限を適用しているパーティションから、ユーザーごとの容量制限を行います。

●容量制限の一覧

容量制限を設定するパーティションを選択します。



「選択」をクリックして次の設定へ進みます。



ユーザーごとの容量制限編集を行います。

一度に表示される件数の初期値は 10 となっています。

一度に表示する件数を増やす場合は、「一度に表示する件数」の数値を変更し、「表示」をクリックします。

また、システムアカウントも表示する場合は「システムアカウントも含めて表示」を選択し、「表示」ボタンをクリックします。

システムアカウントは、root でログインした時にのみ表示されます。

容量制限を編集するユーザーの「編集」ボタンをクリックします。

容量制限の設定画面が表示されます。

ユーザ名: ladmin

詳細な容量制限を行います

	サイズ	iノード [?]
現在の使用量	11 KB	6 node
容量制限(QUOTA)値 [?]	<input type="text" value="0"/> KB	<input type="text" value="0"/>
超過許容サイズ [?]	<input type="text" value="0"/> KB	<input type="text" value="0"/>

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックして下さい。

「容量制限 (QUOTA) 値」「超過許容サイズ」、それぞれについて、サイズ、iノード、による容量制限を設定します。「OK」をクリックして、「ユーザーQUOTA の編集」画面に戻ります。

超過許容サイズは、容量制限値を一時的に超えて使用することを許可する最大サイズとなります。必ず容量制限値より大きな値を設定してください。

「設定する」をクリックして、設定を終了します。

●容量制限一括設定

HDE Controller
Web-based Administration Software for Linux Servers

HOME >>> ディスク容量制限設定

- パーティション設定
- 容量制限一覧
- 容量制限一括設定**

ここではディスク容量制限(quota)の設定
容量制限ではパーティション毎、ユー
ズ

パーティション別にユーザーの容量制限の設定を一括して行います。

容量制限を設定するディスクパーティションの選択

パーティション別にユーザの容量制限を一括で設定出来ます。設定するパーティション名の選択ボタンを押して次の画面に移動してください。

⚠ 「パーティションの設定」において容量制限を課す設定を行っていないパーティションについては表示されません。

/home [ユーザーのホームディレクトリ]

/var [メールや他のアプリケーションデータのスプールの保存領域]

●容量制限の一覧

容量制限を設定するパーティションを選択します。

「選択」をクリックして次の設定へ進みます。

アカウントの選択画面が表示されます。

アカウントの選択

複数のユーザーの容量制限を一括で行います。容量制限を適用したいアカウントの左端のボタンをチェックして選択してから次の画面に移動してください。

対象ディスクパーティション: /home

以下からデータを抽出して表示させることができます。

データの抽出 > アカウント名 が q を含む 検索

ユーザー	容量制限値	現在の使用状況					
		使用量	比率	使用ノード数			
uid	アカウント名	サイズ	レコード数	使用量	比率	使用ノード数	比率
<input type="checkbox"/>	505 qmailr	制限無し /	制限無し	0 KB /	-	0 node /	-
<input checked="" type="checkbox"/>	506 qmails	制限無し /	制限無し	0 KB /	-	0 node /	-
<input checked="" type="checkbox"/>	504 qmailq	制限無し /	制限無し	0 KB /	-	0 node /	-
<input type="checkbox"/>	502 qmailp	制限無し /	制限無し	0 KB /	-	0 node /	-
<input checked="" type="checkbox"/>	501 qmail	制限無し /	制限無し	0 KB /	-	0 node /	-
<input type="checkbox"/>	500 qmaild	制限無し /	制限無し	0 KB /	-	0 node /	-

合計で 6 個の該当アカウントが存在します

一度に表示する件数: 10 表示

システムアカウントも含めて表示

戻る キャンセル 進む

アカウントを検索する場合は、検索条件として、「データの抽出」をする場合

メニューから抽出内容を選択し、検索キーワードを入力して、検索の一致形式を選択します。

「検索」をクリックして、検索を実行します。

検索結果の表示件数を変更する場合「一度に表示する件数」の値を変更し、「表示」をクリックします。

容量制限を設定するユーザーを選択し、「進む」をクリックして、次の設定へ進みます。

容量制限の設定画面が表示されます。

選択したアカウントへの容量制限値の適用

合計で 1 個のアカウントが選択されました。
この選択されたアカウントに対して容量制限を適用します。
対象ディスクパーティション: /home

	サイズ	iノード [?]
現在の使用量	0 KB	0 node
容量制限(QUOTA)値 [?]	<input type="text"/> KB	<input type="text"/>
超過許容サイズ [?]	<input type="text"/> KB	<input type="text"/>

戻る

✕ キャンセル

設定する

「容量制限 (QUOTA) 値」「超過許容サイズ」、それぞれについて、サイズ、iノード、による容量制限を設定します。

超過許容サイズは、容量制限値を一時的に超えて使用することを許可する最大サイズとなります。

必ず容量制限値より大きな値を設定してください。

マイサーバーサービス 利用マニュアル(ディスク容量制限設定) マイサーバーVPS compact

発行元 : 株式会社イージェーワークス

発効日 : 2010 年 7 月 9 日 rev1

リムネット カスタマーサポートセンターの連絡先

電話窓口 : 0120-678-309

ファックス : 045-472-2777

メール : support@rim.or.jp

受付時間 : 24 時間 365 日

本マニュアルに記載されている内容の著作権は、原則として株式会社イージェーワークスに帰属します。
著作権法により、当社に無断で転用、複製等することはできません。